

国際会議での発表を通じて

工学府電気電子工学専攻M1 弥永 浩輝



はじめに

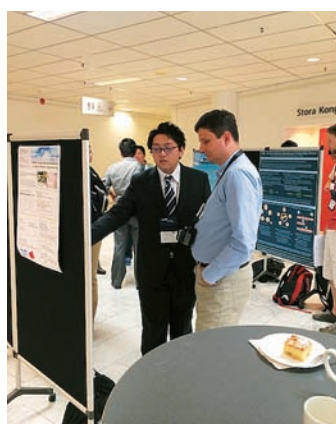
2014年7月21日～7月25日にスウェーデンのヴェステロースで開催された、COMPSAC2014 (IEEE Annual International Computer Software & Applications Conference)に参加しました。海外に行くのは2度目でしたが、初めて海外に行ったのは高校時代の修学旅行でしたので、今回が初めての海外という気分でした。今回行ったスウェーデンのヴェステロースという町は、比較的静かで、のどかな場所でした。今回、国際会議に参加して、ポスターセッション形式で自分の研究に

ついでの発表を行いました。私の研究では、インターネットにおけるパケット転送効率向上のための技術であるパケット集約技術の性能改善を目指しており、私の提案するネットワークの状態を考慮した集約待機時間調整手法の動作と有効性について発表しました。

発表を通じて感じたこと

ポスターでの発表を通じて、自分の英語力が無いことを改めて痛感しました。ポスターや研究内容を説明するために、話す内容や質疑対策を行っていたのですが、実際に質問を受けたとき、聞き取れないことや返答するための言葉が出てこないことが多くありました。しかし、質問に来てくれた方は、上手に話せていない私の説明を熱心に聞いてくださいました。自分の説明が最後まで伝えられたときは、かなり達成感を感じることができました。また、ポスター

セッションは、オーラルセッションとは異なり、質問に来てくださった方と自分の研究テーマに関して、深い議論を交わすことができたため、とても楽しく、時間を短く感じる程でした。



発表の様子

ヴェステロース

国際会議の開催地であったヴェステロースという町は、スウェーデンの中でも小さな町であり、ファッションブランド「H&M」の発祥地としても有名です。町の人々は道路の信号機をほとんど使用せず、目視確認で道路を横断していました。信号機自体も夕方18時頃には消灯しており、次の日の朝9時まで停止していました。町全体がのどかで良い場所だと感じました。

私は、発表終了後にヴェステロー

スの町を見て回りました。緯度が高いせいから、太陽が近いため、直視できないほど日差しが強く、当日は気温が30度を超す真夏日でした。その際に見学したのが、ヴェステロース大聖堂です。中は意外と広い作りになっていました。ヴェステロースは、日本では見ることでできない風景が多くありましたので、歩くだけで楽しむことができました。

国際会議での発表をしたことのない方がこの文章を読んでもいいならば、是非参加することをお勧めします。必ず良い経験になり、将来の役に立つこと間違いなしです。

最後に国際学会参加にあたり、経済面で奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆およびポスター作成に関してご指導いただいた池永教授、野林助教に厚く御礼申し上げます。



ヴェステロース大聖堂